



親子で楽しい工作活動



ひな祭り工作作品

Contents

< 思い立ったら、まず行動 >
Smile Charge

< ちい寄附賛同店 >
富士山溶岩焼肉 飛騨九兵衛
末廣農場

< とみさとの魅力みつけた！ >
久能臥龍桜

思い立ったら、まず行動

核家族化が進み、さらに共働き世帯が急増している昨今、子育ての環境も様々な課題が出てきています。

そんな中、自分たちで課題を解決しようと行動力を駆使して新たに活動を始めた子育て団体「Smile Charge」。子育て世代のママたちの思いを取材しました。

仲間がいてくれたから

毎月第3水曜日、富里市日吉台にある富里北部コミュニティセンター2階の和室から、明るく賑やかな笑い声と楽しそうな音楽が聞こえてきます。部屋の中で活動しているのは、市民活動団体「Smile Charge」。立ち上げたのは、乳幼児を持つ5人のママたちです。

活動のきっかけは、我が子を連れて子育て支援センター（以下、支援センター）へ行くようになったことだと代表の野並さんは言います。ここでは、たくさんの親御さんたちと知り合うことができましたが、当時はコロナ禍ということもあり、限られた短い時間での利用に物足りなさを感じていたそうです。

「利用時間があっという間で、もっとママたちと交流したかったという気持ちがありました。子育ての悩みを話し合ったり、情報交換をし合える場が欲しくて。もっとゆったりと育児を楽しめる場があったらいいのに…と思うようになったんです。」と話す野並さん。思い立ってから団体を立ち上げるまでのスピードは、乳幼児を育てるママとは思えない程の勢いと行動力がありました。

まずは、参加しているママたちへ「支援センター以外で遊べる場所があれば参加したいか」「参加して、どんなことをやりたいか」をヒアリングしました。その情報を元にたった1人でとみさと市民活動サポートセンターへ団体登録の相談に訪れたのは、令和5年2月のこと。

その時、「1人でやるより何人かで行った方がより楽しい場ができるのではないか」というアドバイスを受け、早速、支援センターに通う仲の良いママ数人へ声を掛けたそうです。



Smile Chargeの皆さん

メンバーの皆さんは当時を振り返り「支援センター以外でもママたちがリラックスしながら子どもたちを遊ばせる場所を作りたい、一緒に立ち上げてほしいという野並さんのまっすぐな思いに賛同し、一緒に頑張りたいと思いました。」「ママの目線に立ち、北部に子育て支援の場をもっと充実させたいという志から、活動拠点を富里北部コミュニティセンターにしたことも共感しました。」と語ります。

メンバーの皆さんは、中沢と七栄に住んでいるにもかかわらず、北部に子育て支援の場をもっと充実させたいという思いから、富里北部コミュニティセンターでの活動に踏み切りました。

野並さんは「一からの立ち上げで先も見えない中、団体を設立できたのは、意見を言い合える仲間が一緒だったから。立ち上げメンバーには本当に感謝しています。」としみじみと話してくれました。

サポートセンターからのお知らせ

令和6年度 市民活動支援補助金応募団体を募集します

市では、市民活動団体が、自主的・継続的に行う公益的な活動を支援しています。実施する事業の内容が市民活動であれば、補助金の対象となる可能性があります。（この補助金は予算の可決が前提であり、申請の際は審査会が行われます。また、予算に達し次第、募集は終了となります。）

【応募できる団体】

- ・ NPO団体
- ・ ボランティア団体
- ・ 自治会
- ・ PTA
- ・ シルバークラブ等の地縁団体 等

・ 制度の内容がよく分からない、
・ 申請書の書き方は？
・ 私たちの事業は補助金の対象？
など団体からの御相談に、個別に対応します。
詳細はサポートセンターまで御連絡ください。



詳細は二次元コードから

試行錯誤を重ねながら…

幼稚園教諭をしていた野並さんは、当時慌ただしく園児の送迎をする保護者の顔をふと思いつくことがあります。その度に利用者の皆さんがほっとできる場所を作りたいと思い、毎回お菓子とお茶を準備しています。また、工作などはママたちが主体で楽しんでもらえるよう、幼稚園教諭時代を思い出しながら、試行錯誤しているそうです。

2月に思い立ってから5月設立までの3か月間、活動内容や会則作り、助成金の申請などをこなしていった皆さんの行動力は、共感することから始まり『子育て中のママのために…』という一筋の思いによるものでした。とはいえ、メンバーほとんどが、働きながら活動しています。育児をしながらの活動は、集まれる日にちを工夫したり、利用者の方の意見を取り入れつつ、SNSなどのツールをフルに活用してメンバー全員が無理をしない活動を心掛けているそうです。



手作りの遊具などで遊ぶ時間



オリジナル遊具で遊ぶ子どもたち

「今後はもっとたくさんの方に気軽に利用してほしいです。子どもたちの成長を見守りながら、交流や情報交換の場にもなれたら嬉しい。子どもたちの成長を分かち合っていきたいです」と話す野並さんとメンバーの皆さんからは、新しいことを始めたエネルギーと自信があふれていました。

Smile Chargeの挑戦し続ける姿と、その勢いには目を見張るものがありました。今後の活躍が楽しみです！

毎月の活動の様子は、Smile ChargeのInstagramに掲載しています。

是非、チェックしてみてください。



Smile ChargeのInstagram

「寄附で支えるまちづくり」に賛同しているお店

富士山溶岩焼肉 飛騨九兵衛

石橋 清孝さん

店舗を構えて5年。富里市の観光協会で理事をするなど、富里が盛り上がるように協力をしてきました。また、ちい寄附の賛同店として市民活動を支えていけたらと思います。



【富里市七栄532-248 Tel 0476-29-4061】

末廣農場

飛田和 笑美さん

市内の色々な店舗で見かけて、ちい寄附のことは知っていました。うちのお店でもちい寄附をきっかけに、寄附に関心を持ってくださる方がいて、優しさがつなげると良いですね。



【富里市七栄650-206 Tel 0476-93-1200】



とみさとの魅力み一つけた！

富里の魅力ある「人」「場所」「文化」などにスポットを当てて紹介していきます。

くのうがりゅうざくら 久能臥龍桜

地を這うように伸びる

富里市の北部、七栄「獅子穴交差点」から久能カントリー倶楽部に向かう道沿い、林や畑が広がる静かな場所に、ひときわ異彩を放っている山桜があります。龍が横たわっているような姿で幹を伸ばしていることから「久能臥龍桜」と呼ばれています。実際に見てみると、地を這うように伸びる幹は、まさに龍のようではなかなかの迫力です。4本のたくましい幹がありますが、2本は枯れてしまっており、残りの2本の幹が見事な花を咲かせています。桜の前には、旅の安全を守っているという道祖神が祀られていました。桜とともに道行く人の安全を見守っているようですね。



横たわる幹



推定樹齢300年の久能臥龍桜

富里市の指定「天然記念物」として

富里の市の花は「サルビア」で広く知られていますが、市の木は御存じですか？昭和46年、住民からの一般公募によって「山桜」になったそうです。久能臥龍桜は、推定樹齢300年という市内の山桜の中で最も古いものであること、形が希少であることから、末永くこの樹形を維持するために天然記念物に指定して保護を図ることになりました。この桜をずっと見守って来た地元の方は、桜が咲くのを毎年楽しみにしているそうです。今年は辰年。満開の臥龍桜を見に訪れてみてはいかがでしょうか。



【アクセス】

富里市久能704-1

千葉交通バス 庚塚（かねづか）バス停からすぐ

富里インターから3.1km 約6分

※私有地の為 駐車場はありません

コーディネーターのひとりごと

弥生三月、卒業シーズンですね。○十年前の中学1年生の時、憧れの先輩の卒業が悲しくて涙した、そんなかわいい時もあったなあと思ひ出す、今じゃすっかり図太い神経になった私です。ただ、何のせいかわからないけど、涙腺は弱くなったなあ。（とら子）

SNSアカウント



<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター

〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1(富里市役所 すこやかセンター1階)

■Tel/Fax:0476-93-4123 ■E:tomisapo@bz04.plala.or.jp

登録団体数：88団体（3月1日現在）

年4回発行 発行部数：2500部 配布先：市内公共施設 他

